

「楽譜とネットワークに関するアンケート調査」 アンケート集計結果サマリー

2018年度から発足したネットワーク委員会では、ネットワーク利用に関して会員社の目線で楽譜ビジネスを更に発展させられるよう検討や研究、他団体との交流を行っておりますが、このたびネットワークを巡る楽譜利用の諸問題について会員社の出版活動に即した要望を拾い上げ、各団体との交渉に繋げていくべく会員社向けのアンケート調査を実施いたしました。アンケートは、主に無料楽譜と楽譜配信の現状／影響について調査したもので、17社から回答を得ることができました。

◆無料楽譜配信サービスについて

無料配信の影響については取り扱う楽譜の種類によって認識が分かれました。対抗措置については多くの会員社が、「利用料率の変更でサービス運営を不能にする施策」と回答した一方（8社）、それによる将来的なビジネスへの影響を懸念する意見も寄せられています。なお、オークション／フリマ系サービスについては1/4の会員社が違法コピー、転売といった被害を認識。「出品のリジェクト」「アカウントの無効化」など、運営サイドでの対応を求める意見が多く見られました。

無料配信の影響	痛感している	実感している	それほどでもない	全く影響ない	わからない
	4	3	7	2	1
売上への影響度	80%以上	60%～80%	40%～60%	20%～40%	20%未満／不明
	0	2	1	2	0/2
どのような不利益があるか	楽譜の棚が縮小	楽器店の閉店	扱われる楽譜が減少	特に変化はない	
	3	1	4	8	

◆PDF形式での販売について

全回答数のうち2/3の会員社がPDF形式で配信を行っており、楽譜の種類もピアノ、ギター、バンドスコアから管弦楽、合唱まで多彩になっています。販売実績についても増加傾向との回答が多く（9社）、配信曲数は101～500曲（4社）、501～1,000曲（1社）、1,001曲以上（7社）。要望としては正規販売店のPR支援、一般電子書店での販売（配信）といった販売拡大に関するものほか、プリントアウトしたものの無断コピー抑止など、コンテンツ保護に関する要望が寄せられています。

PDF形式の楽譜配信	行っていない	自社で行っている	配信会社を利用	左記両方を利用
	3	2	7	3
楽譜の種類	ピアノ	ギター	バンドスコア	×ロディ譜
	9	6	4	5
	管弦楽器	合唱	その他	
	3	3	4	

◆プリント・オン・デマンド（POD）形式での販売について

お客様の注文に応じて1冊から印刷・販売する「プリント・オン・デマンド」形式での販売を過半数の会員社が導入済。主なコンテンツは楽譜、次いで書籍となっています。商品点数は100点以下（4社）、101～500点（2社）、501点～1,000点／1,001点以上とも各1社で、品切れ／重版未定商品対応に利用という回答が多く（6社）見られました。

PODでの出版実績	行っていない	自社で行っている	販売会社を利用	上記両方を利用
	7	6	2	0
主なコンテンツ	楽譜	教則本	書籍	その他
	6	0	3	1

◆書籍・雑誌等の電子出版について

半数の会員社が電子出版を行っており、内容は書籍・読み物（6社）、書籍・教則本（2社）、雑誌（4社）など（複数回答あり）。配信タイトル数は最も多い会員社で約550点。配信会社を利用しているという回答が大多数を占めています。要望としては「使用料の適正化」、「JASRAC上の利用区分“配信”について信託の自由化」「許諾内容の細分化」などとなっています。

電子出版の実績について	行っていない	自社で販売	配信会社を利用	左記いずれも利用
	5	0	7	3
電子出版実績カテゴリ	書籍（読み物）	書籍、教則本	雑誌	その他
	6	2	4	0

◆不正コピー対策について

一般的な電子書店では多くの場合、販売しているファイルに各社独自のデジタル著作権管理機能が備えられていますが（専用アプリの組み合わせでのみ閲覧できる等）、楽譜については配信しているファイルの種類やストアの提供方法によって異なるため、特に対策はしていない（8社）のほか、自社でできる範囲内で（5社）と、対応状況はさまざまでした。

◆ホームページでの販促について

販促用途にコンテンツをストリーム提供したことが「ある」という会員社は全回答数のうち14。ただ、「反響あり」（3社）という意見の一方、「あまりなかった」（5社）、「不明」（7社）など、効果判定の難しさが見て取れる一面も。一方、特典のダウンロード提供実績については「ある」（3社）、「ない」（13社）となり、理由としては「限定的にするのが難しい」「広告的複製に該当するの判断が難しい」「ユーザーがダウンロードに不慣れ」など、デジタルデータ取扱の難しさを感じさせる意見もありました。

◆配信／電子出版の事業展開と、管理業務の現状について

配信事業の展開および予定については「ある」（8社）、「なし」（6社）が分かれました。「いいえ」の理由としては分配・印税を含む管理業務の煩雑さや人的リソースの不足を挙げる意見に加え、データの流出やコピーを心配する声も。また、「今後必要だと考えるシステムやインフラ」については「JASRAC、NexTone 全楽曲の検索ができるデータベース」を要望する意見が見られました。

◆権利者との契約状況について

回答のあった14社のうち、11の会員社が何らかの形で権利者との間で契約を締結。「出版権設定契約」（7社）。「著作権譲渡契約」（2社）、「業務委託契約」（6社）など、コンテンツによって契約内容はさまざまとなりました。

日本楽譜出版協会

所在地：東京都千代田区外神田2-18-21 会長：佐々木 隆一

設立：1986年10月 URL：<http://www.j-gakufu.com/>